



# いずみ



育てよう 自分の「いいね」  
広げよう みんなの「いいね」

発行 高木 恵美



あけまして  
おめでとうございます



「お年玉、貯金しました。」「おばあちゃんの家に行ったよ。」「おそばとお雑煮を食べた。」など、年末年始を楽しく過ごした子供たちの元気な声で、新しい年 2026 年が始まりました。

1月8日(木)、年明け初めての朝会では、ウォーミングアップに「おせち料理」と「七草がゆ」の話をしました。

【朝会のパワーポイントから抜粋】

<p>お節料理(おせちりょうり)</p> <p>重箱 (じゅうばこ)</p>	<p>黒豆(くろまめ)</p> <p>「まめ」という言葉は、 何事にも精を出すこと、体が丈夫なこと。</p>	<p>昆布巻き(こぶまき)</p> <p>「よろこぶ」との語呂合わせで縁起のいいもの</p>	<p>れんこん</p> <p>穴(あな)が多く空いているので先がよく見える。 「見通しのよい」一年になる。</p>
--	--	--	---

おせち料理を「重箱」につめるのは、「福が重なるように」など、一つ一つの素材や料理に意味があり、その年、家族みんなが健康に幸せに過ごせるようにと昔から引き継がれている日本の文化です。さらに、1月7日に食べる「七草がゆ」は、主に「一年の無病息災を願う」や「お正月の疲れた胃腸を休める」など心身共に大切にするという意味があるそうです。

七草粥(ななくさがゆ)

1月7日に「七草がゆ」を食べると、  
植物がもつ生命力を取り入れ、  
病気になるず健康にすごすことができる。

せり → なずな  
ごぎょう → はこべら → ほとけのざ  
すずな → すずしろ

はるのななくさ  
春の七草

子供たちの中には、「春の七草」をすらすら言える子が何人もいて感心しました。



せり・なずな・ごぎょう・はこべら  
ほとけのざ・すずな・すずしろ



素敵なお心遣い  
ありがとうございます  
～職員室前の環境～

こちらのお馬さんは、地域学校協働活動推進委員の高野治子さんからいただきました。高野さんのお母様が作ってくださったものです。御年 92 歳とうかがいました。きめ細かな細工が施され、とても可愛らしい干支の飾りになっています。

職員室入口の電話の隣には、去年の干支のへびさんも！



こちらのシクラメンは、白楊高校の生徒さんが栽培したものを購入し、飾ってあるものです。昨年は、星型花壇に花植えもしていただきました。地域には、このような素敵な高校があります。廊下中央に置いたので、自ずと走る子が少なくなりました。



いつの間にか誰かが、花言葉「あこがれ」を添えてくれました。

子どもたちにとって、何事もうまいく一年になりますよう、応援お願いいたします。  
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

